

命どう宝～沖縄の歴史と文化と社会～

マス塾新報

島マス記念塾
事務局担当者
無責任編集
Tel.937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM



沖縄戦の特徴と戦後残された物



★今日の講義で、沖縄の歴史には沖縄戦が深く関わっていて、改めて戦争の怖さを知りました。「命どう宝」命は宝であった、今生きている時代が平和であると改めて思った。(玉城美香)

★真実を知る事はとても難しいことなのだと思えさせられました。人の意見ではなく、自分の目で見て、肌で感じたことを大切にして自分の意志で判断していきたいです。(武藤亜希)

★集団自決や特攻作戦など、悲惨な戦争体験をし

た沖縄だからこそ『命どう宝』という言葉の意味は重く、大切にしなければいけないものだと思います。(与那覇仁美)

★今日は、実態をごまかし、歴史を歪ませた日本の教育により、私たちが教えられた沖縄ではなく、本当の沖縄の話を聞いて良かったです。私は日本人というよりも、うちなーんちゅということに対して誇りを持っています。それは、沖縄独自の歴史を経て受け継がれたアイデンティティだと、先生の話聞いて分かりました。(仲松康)

★「皇民化教育」支配する側のための教育が大きな悲劇を生んだのだと改めて学ばさせて頂きました。教育は、子ども達のためにあるべきです。(本山陽一郎)

★沖縄戦について知り得なかった新しい発見がありました。今日、在京紙等の報道(TV・ニュース報道も含む)等、事実とは異なる報道がなされている事に胸が痛みます。平和とは何か?様々な視点で物事を考え、学び、生かすことが、私たちの時代の役目だと思います。



その為には勉強が大切だと改めて認識しました。(伊波秀輝)

★琉球時代かつ戦争の激戦史、そして戦後の沖縄の歩みを分かりやすく学ぶ事ができた。今回初めて知る事も多く、改めて考えさせられた。未来は変えられると思えました。(照屋一樹)

★歴史を振り返ってみると、今もまた同じような事を繰り返そうとする雰囲気がある。悲しい思いをしてきた沖縄だからこそ、できることがあるはず。なにができるか考えたい。(當間仁美)



★自分達の負の歴史を美化するのではなく、負の歴史をしっかりと伝えていかないといけないと思いました。(中根諒)

★私達の愛する沖縄、この小さい島から想像を超えるほどの過酷ともいえる歴史。平和を愛し、人を愛し、大切にしている命どう宝を愛する島なの。戦後七十年の節目の今、多くの犠牲をはらった沖縄だからこそ、平和の大切さ、命どう宝を、私の大切な家族や友人などと話していきたいです。未来へ続いてほしい永久

平和を世界へ、沖縄から島ぐるみの力で届けたい。

(平良寛美)

★コザの復興の様子が印象に残りました。復興の中心だったんだなーと。慰安所が県内に設置されていたことはあまり知られていないと感じる。きつと携わった人、詳細に知る人が県内にいるはずだが、やはり話しくいだろうと思う。話しくい人達から、どの様に話を聞き、市史にまとめたのか。証言を残した事はすごいことだと思いました。

(清水柚里)

★沖縄戦から見える沖縄の歴史・文化を語るには



どう教えていたのか？

(前原一貴)

★講義ありがとうございました。沖縄に生まれ育った事の意味を考えさせられる講義でした。戦争を生き抜いてきた人々が今の沖縄をつくってきた。その事を忘れず、生き残った人の責任を考え、誇りを持って生きていこう！

(公羽長久仁子)

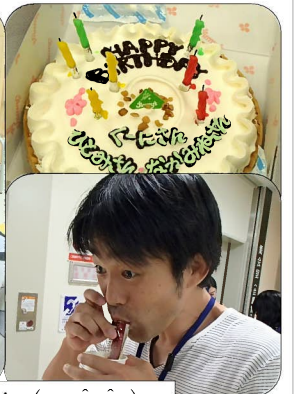
★とても熱い講義ありがとうございました。今まで知らなかった沖縄戦の新たな情報を知る事ができ、驚きの連続でした。今日得た事実をこれからの子ども達にも伝えて行きたいです。戦争反対！！

(新垣佑生)

90分では足りませんでしたが。嶋先生の語り口から「伝えたい」の思いが満ち溢れていました。「命どう宝」の言葉の重さを、今日の講義を聞いて更に感じました。戦争を体験したからこそひしひしと感じる「命どう宝」という言葉の重みを知り尽くした嶋先生の言葉や知識が、戦争を体験した事のもっと私達の中に、もっともっと植え込まれていて欲しいなと思いました。

(糸数抄子)

★戦後の教育はどのような方針で進められたのか？(愛国心など、国の事は



休憩時間も楽しい島マス記念塾！ホット一息コーヒータイム！(*^*)v